Panasonic®

施工説明書

クリーンスイセン陶器洋風Cタイプ

品番			
	便器		CH230Y
	ロータンク	手洗いなし	CH2300
		手洗い金具付	CH2301

■施工前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。 ■施工説明書、施工完了後チェックリスト、取扱説明書、保証書、同梱の水洗化部品は必ずお客様にお渡しください。

安全に関するご注意

ここに示した注意事項はお使いになる方が製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	してはいけない内容です。
●	実行しなければいけない内容です。

次に関する内容は、特にご注意ください。

	分解禁止	●分解・修理・改造は絶対に行なわない。（事故の原因になります。）
⚠ 注意	●	●施工後必ず試運転し、配管に水漏れがないか確認する。

お願い事項

1. 水道配管工事は各都市水道局の指定店にご依頼ください。
2. 使用水圧範囲は最低必要水圧で49KPa（0.5kgf/cm²）最高水圧で735KPa（7.5kgf/cm²）です。（手洗い金具付タイプを最低必要水圧でご使用される場合、他の給水金具を同時使用されていますと手洗い水が少なくなるおそれがあります。）
3. 2階以上に設置の場合は、トイレルームの防水をお薦めします。
4. この商品に便座、止水栓、オーバーフローホース用塩ビ管は含まれておりません。別途お求めください。
5. 簡易水洗をお使いの場合は、必ず簡易水洗用便槽をおつかいください。
6. この商品は水洗化対応商品です。水洗便器に改装される際には、水洗化改装キット（弊社品番：ＣH239またはＣH2397［寒冷地用］）を別途お求めください。
7. 水洗化される際の便槽まわりの配管は、「水洗化時の床下変更について」をお読みください。

取付け前に

1. 説明書の内容と異なる施工をされた場合、建築確認申請が受けられない場合がありますのでご注意ください。
2. 一部の特定地域では設置できない場合や水道事業管理者の承認が必要な場合があります。（弊社営業所、又は販売店にご相談ください。）

暖房便座や温水洗浄便座をお使いの場合

※温水洗浄便座の場合、水道直結式の温水洗浄便座をご使用ください。

※暖房便座、温水洗浄便座に同梱している説明書をよくお読みになり、ご施工いただきますようお願いします。

取付けスペース

（寸法はすべてmm）

配管について

1. 配管材料はＪＩＳＫ6741による硬質塩化ビニール管とし、特に肉厚は導入パイプで2mm以上、臭突パイプで1.5mm以上にしてください。
2. 横引き配管内でのエルボの使用は避けてください。
3. 脱臭扇の下端は窓や換気口の上端から60cm以上高い位置に取付けてください。
4. 簡易水洗用便槽の施工については、便槽の施工説明書をよくお読みになってください。

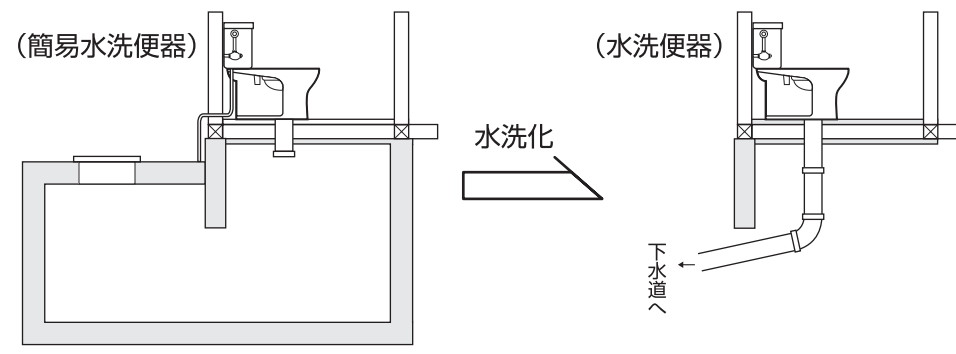
水洗化時の床下変更について

1. 水洗化を予定されている場合は、なるべく横びきの簡易水洗便器用便槽をお求めください。（工事費用が少なくなります。）
2. 床下直下型便槽、コンクリート便槽の場合は、床下すべてを改造する必要があります。（弊社営業所、又は販売店にてご相談ください。）
3. 水洗化される際は、水洗化改装キット（弊社品番：CH239またはCH2397［寒冷地用］）を別途お求めください。
4. 寒冷地用の水洗化改装キット（凍結防止ヒーター付）（弊社品番：CH2397）をお使いの場合は、配線工事が必要です。配線工事は必ず電気工事店にご依頼ください。

1 横引きの簡易水洗便器用便槽の場合

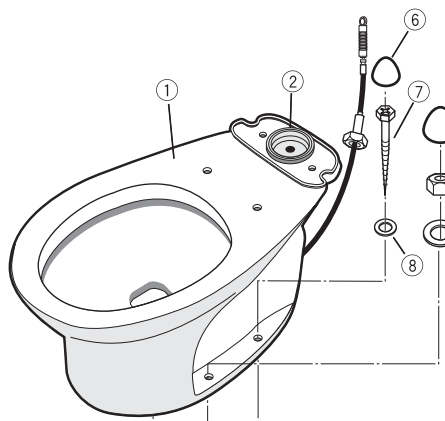
●床下の配管を改装する必要はありません。既存の配管を利用して下水に配管してください。

●二階建て用便槽の場合は配管合流部にますを設置してください。

2 床下直下型便槽の場合（コンクリート便槽も含む。）

●床下からの配管工事が必要となります。

3 クリーントイレをクリーンスイセンに改装された場合

●便槽にかかわらず、床下からの配管工事が必要です。

各部の名前と部品確認

【本体セット】

No.	部　品　名	数量
①	便器本体	1
②	ノズルセット	1
③	化粧キャップ（大）	2
④	六角ナット	2
⑤	平座金（大）	2
⑥	化粧キャップ（小）	2
⑦	六角ねじ（φ6×64）	2
⑧	平座金（小）	4
⑨	丸木ねじ（φ5×35）	4
⑩	T形ボルト	2
⑪	床フランジ	1
⑫	ゴムパッキン	1
⑬	保証書	1
⑭	取扱説明書	1
⑮	施工説明書	1

〈別途ご準備いただく部品〉

（1）止水栓	専用タイプのものをおすすめします。（CH23004）	
（2）塩ビパイプ	市販品 —	VP40
	市販品 —	VU100

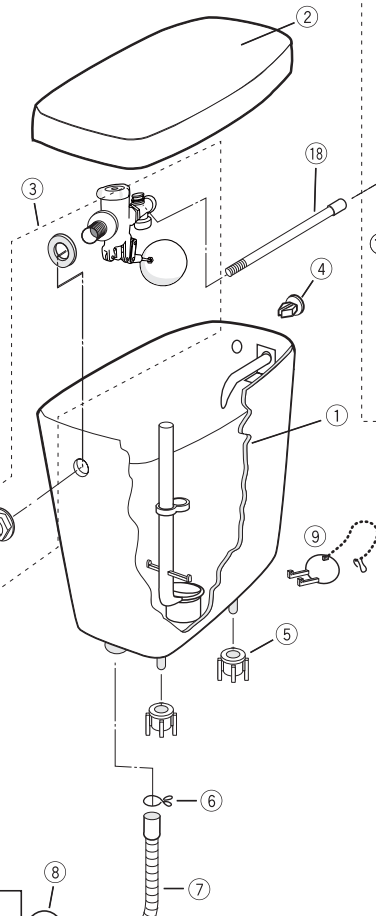
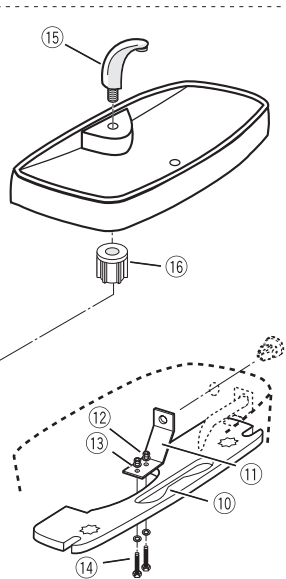
〈水洗化時に関するご注意〉
クリーンスイセンから水洗便器に改装される際は水洗化キット（CH239・CH2397）を別途お求めください。

【手洗い付ロータンク】

【手洗い金具付ロータンクセット】

接続パイプ（VU−100）

止水栓

塩ビパイプ

【ロータンクセット】

No.	部　品　名	数量
①	ロータンク本体	1
②	ロータンク蓋（手洗無）	1
③	ボールタップセット	1
④	ボールタップ穴キャップ	1
⑤	ワンタッチナット	2
⑥	ホースクランプ	1
⑦	オーバーフローホース	1
⑧	排水キャップ	2
⑨	洗浄弁	1

【手洗付のみ】

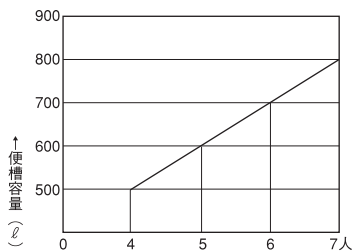
No.	部　品　名	数量
⑩	充填材	1
⑪	充填材固定金具	1
⑫	六角ナット（M6）	2
⑬	平座金（M6）	4
⑭	六角ボルト（M6×40）	2
⑮	手洗い吐水管	1
⑯	手洗い吐水管ナット	1
⑰	パッキン	1
⑱	給水管（手洗い用）	1

便槽容量の設置関係 ［寸法はすべてmmです］

1 便槽の容量

★最低でも500L以上の容量を★

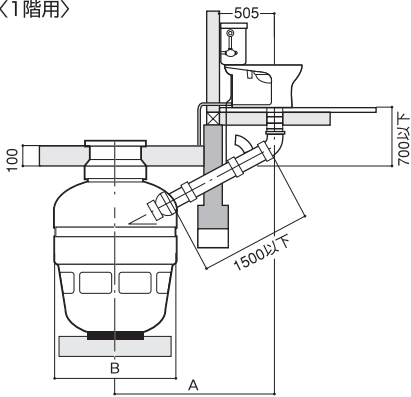
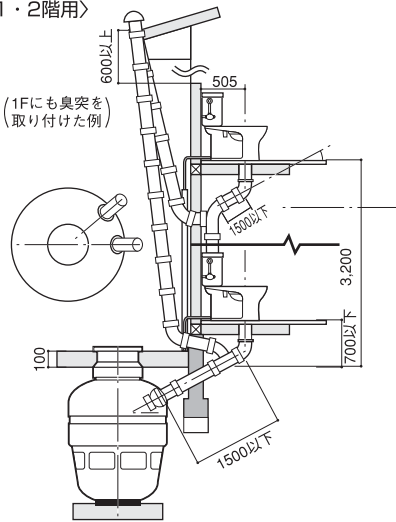
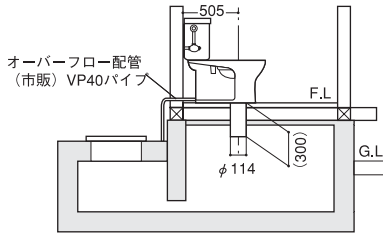
- もし、容量が少なすぎるとくみ取りの回数が多くなり、お客様にご迷惑をかけてしまいます。

〈便槽の容量早見表〉

例えば
5人家族なら、
1ヵ月で600Lです。

※温水洗浄便座を使用される場合は、ひとランク大きい便槽をご使用ください。

2 新築の場合

（1）便槽を使用する場合

〈1階用〉

〈1・2階用〉

（2）コンクリート便槽に使用する場合

※水洗化時は床下工事が必要です。

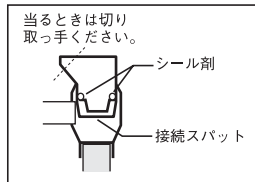
3 クリーントイレを改装する場合

※水洗化時は床下工事が必要です。

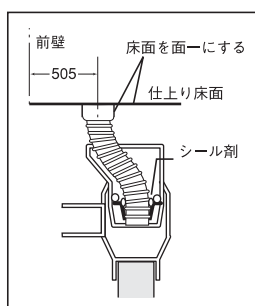
★カフスと床フランジ用ワッパを塩ビ接着剤で接着します★

カフス　床フランジ

〈改装部品施工要領〉

・カフスと床フランジを塩ビ接着剤で接着します。〈塩ビ接着剤以外の接着剤は、使用しないでください。〉

・虫返しの下部に接続スパットをはめ込み、シール剤で止めします。〔虫返しがひどく汚れている場合は、虫返しを取替えてください。〕

〈クリーントイレに取付ける場合の改装部品キット〉

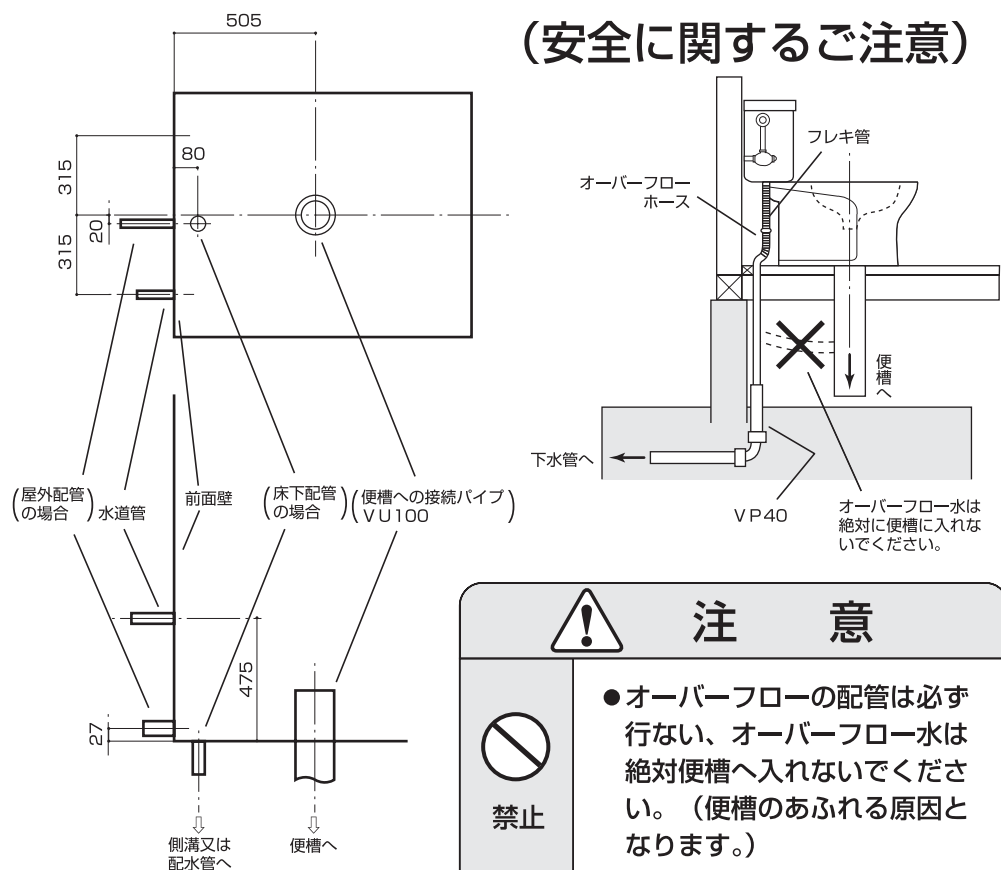
品　番	部　品　名	姿　図	用　途
CH8426K	接続スパット		虫返し下部にセットし、クリーントイレとフレキシブルホースを接続します。
	シ ー ル 剤	L=103	各部品のシールをします。
	接続スパットフレキホース	550	便器本体と接続スポットとを連結します。

・接続スパットとフレキシブルホースとのすき間をシール剤で目止めしてください。

・カフスの先端が、仕上り床面と同一面に仕上るようにフレキシブルホースの長さを調整してください。〔ホースの下端が虫返しより下に出ないようにしてください〕

取付け手順

1 配管工事

❶ 接続パイプ、オーバーフローパイプ、水道管を配管する。
（手洗い金具付ロータンクの場合も同じ）

（安全に関するご注意）

ご注意

●接続パイプは必ずVU100（外径114mm）をお使いください。

注　意

禁止	●オーバーフローの配管は必ず行ない、オーバーフロー水は絶対便槽へ入れないでください。（便槽のあふれる原因となります。）
!	●寒冷地では、凍結防止のため床下配管を行なってください。また、オーバーフローホース先端での凍結は十分注意してください。（便槽のあふれる原因となります。）

2 床工事

❶ 床の強度は、十分なものにする。

注　意

●床材が木質の場合は、床下を十分に補強してください。(便器がぐらついたり、水漏れのおそれがあります。)

（安全に関するご注意）

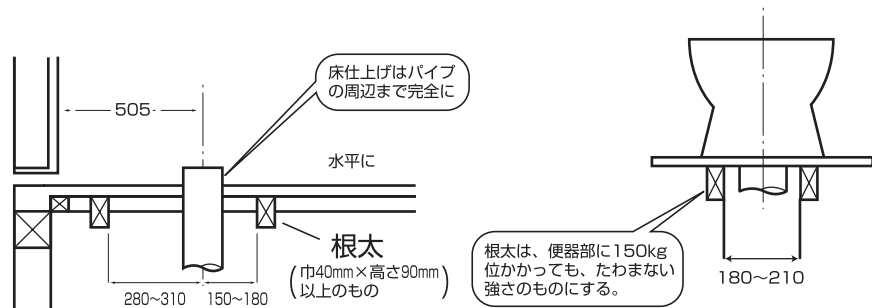
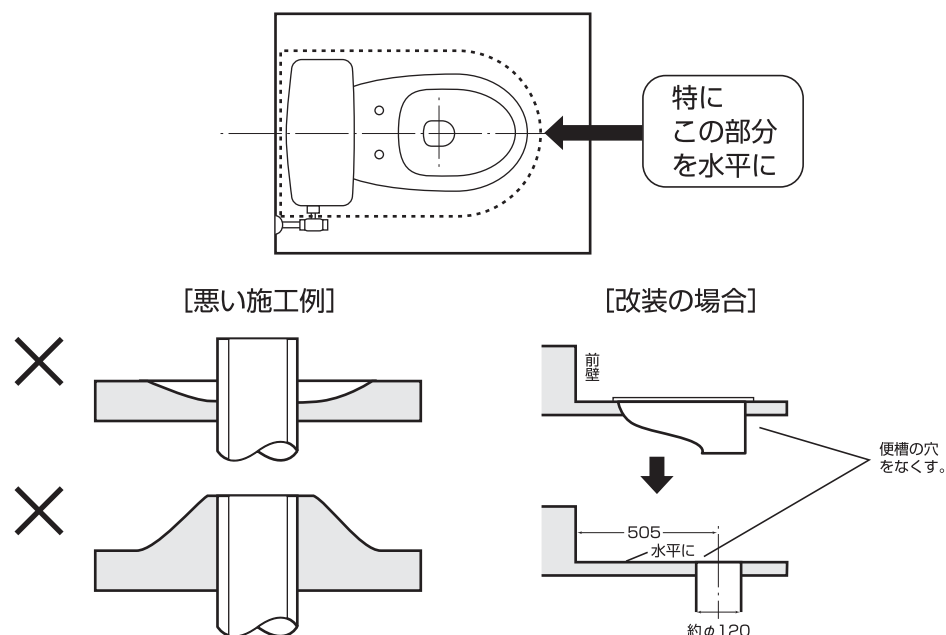
❷ 床仕上げは、必ず水平に施工する。

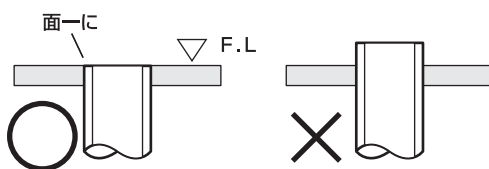
注　意

●床面は、水平に施工してください。（便器がぐらついたり、性能が発揮できないおそれがあります。）

（安全に関するご注意）

［悪い施工例］

［改装の場合］

3 床フランジの取付け

❶ 排水管を床面と面一に切断する。
（床面より排水管がでますと、便器がガタつきます。）

❷ 床フランジと排水管を接着する。

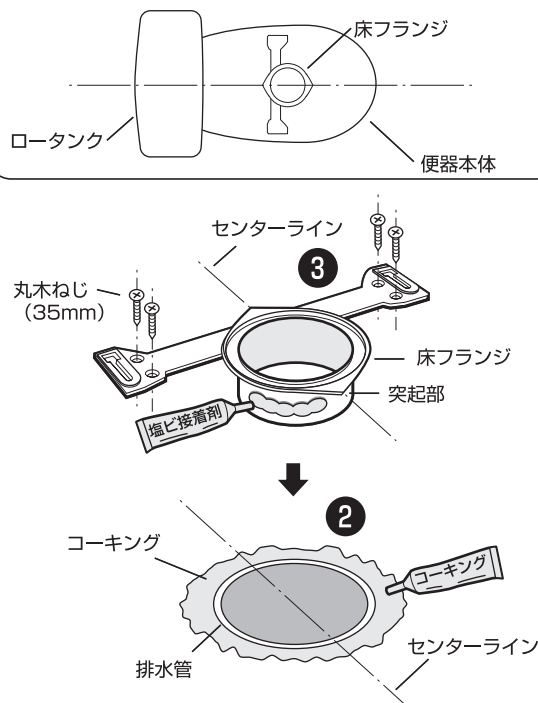
ご注意

床面にあたるまで差し込み床フランジの突起部と床面のセンターラインを合わせる。

❸ 丸木ねじ（35mm）で床フランジを固定する。

ご注意

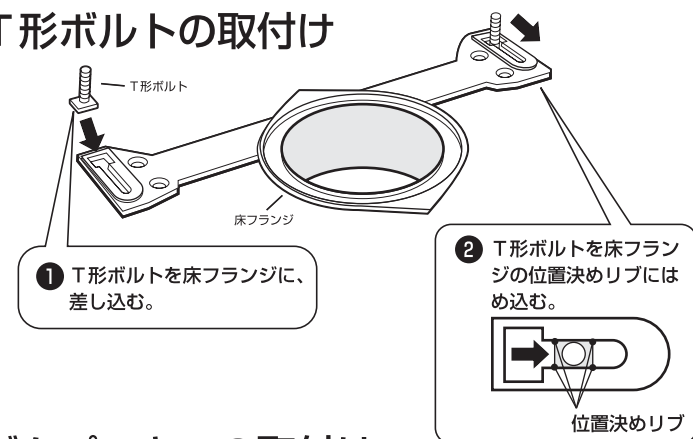
床材がタイルの場合、木栓または市販のプラグを使用し、床フランジのフランジ部の下面がタイルに接するようにしてください。

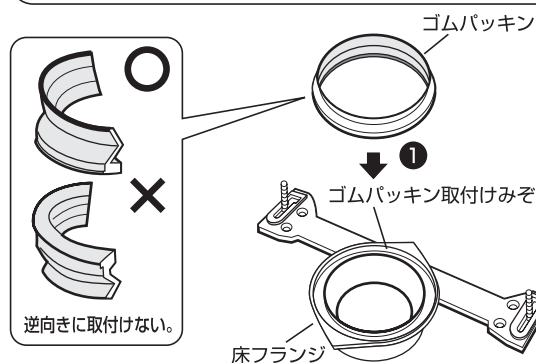
〈便器と床フランジの取付方向〉

（安全に関するご注意）

注　意

!	●２階以上のトイレルームは必ず床フランジまわりのコーキングをしてください。（水漏れのおそれがあります。） ●床フランジが浮かないようにしっかりと４カ所をネジ止めしてください。（便器がぐらついたり、水漏れのおそれがあります。）

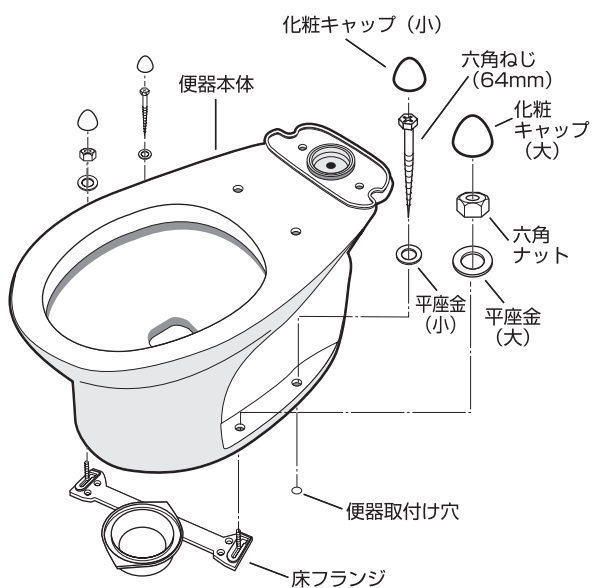
4 便器の取付け準備

● T形ボルトの取付け

●ゴムパッキンの取付け

❶ ゴムパッキン取付みぞのゴミ等を取除き、ゴムパッキンをセットする。(向きに注意)

（安全に関するご注意）

注　意

	●ゴムパッキン取付みぞのゴミ等をしっかり取除いてください。（水漏れのおそれがあります。）
禁止	●ゴムパッキンを逆向きにセットしないでください。（便器のガタつきや水漏れのおそれがあります。）

5 便器の取付け

❶ 便器の取付け穴と床フランジの位置を合わせ便器を床フランジにのせる。

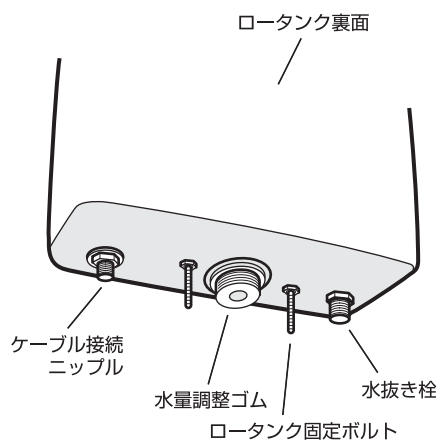
ご注意
- 便器は、床フランジの上に、まっすぐ、ていねいにのせてください。

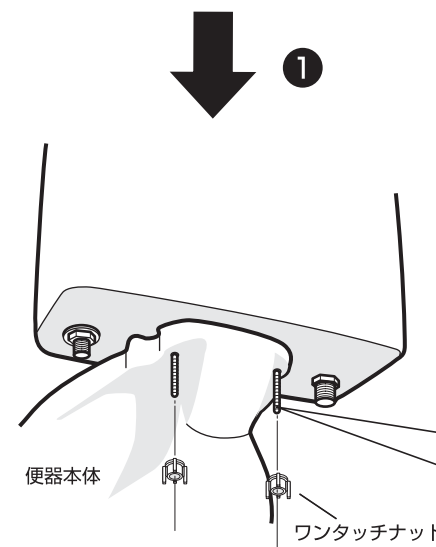
❷ 便器が床より浮きますが、六角ナットですき間がなくなるまでしっかり固定する。（左右共）

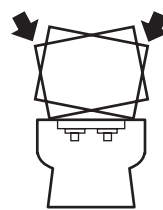
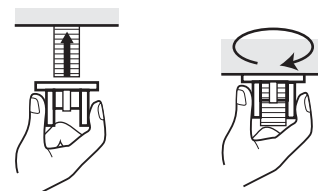
❸ 便器と床とを六角ねじ（64㎜）で固定する。（左右共）

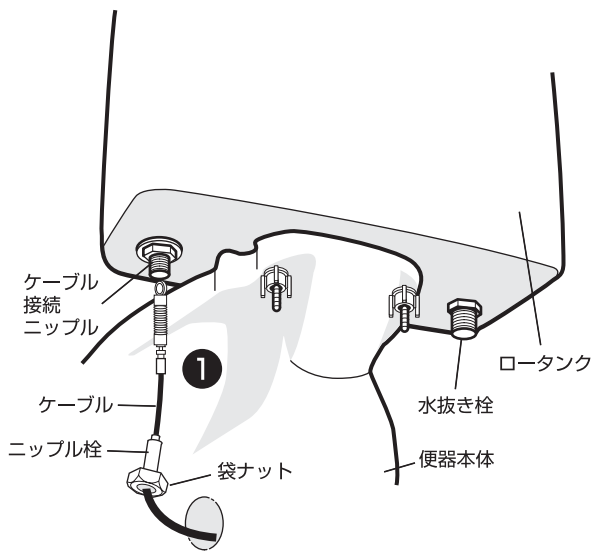
（安全に関するご注意）

	注　　意
	●本体がガタつかないようにしてください。万一床面が平面になっていない場合は、本体後部（ロータンク側）のすき間に、スペーサーを入れ、便器本体を床面と固定してください。（水もれの原因となります。）
禁止	●白セメントで便器まわりを固定しないでください。（点検時及び水洗化時に本体がはずせなくなります。）

6 便器とロータンクの取付け

❶ ロータンク底部にあるロータンク固定ボルトを便器本体の穴に通しながら便器にロータンクをのせる。

ご注意
ロータンク底部の中央部にある水量調整ゴムがぬけていないか確認してください。

※ワンタッチナットは手締専用です。

❷ ロータンクを便器にセットし便器にあたるまでロータンク上部を押えながら。

奥まで差し込み　手締めする。

※ロータンクのガタつき、傾きがないように左右を均等に締め付ける。

7 ワイヤーの取付け

❶ 便器本体の後ろの穴から出ているケーブルをケーブル接続ニップルに差し込み、しっかりと袋ナットをしめる。

ご注意
- ロータンク内側のケーブルはたるませないようにしてください。
- ケーブルを折り曲げないようにしてください。

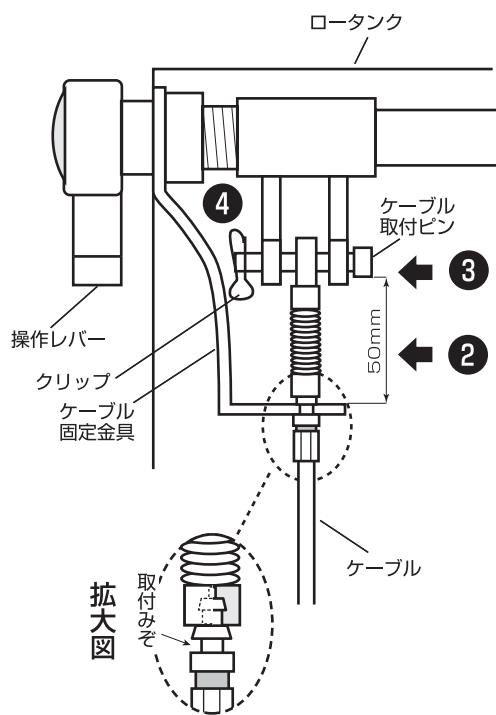
（安全に関するご注意）

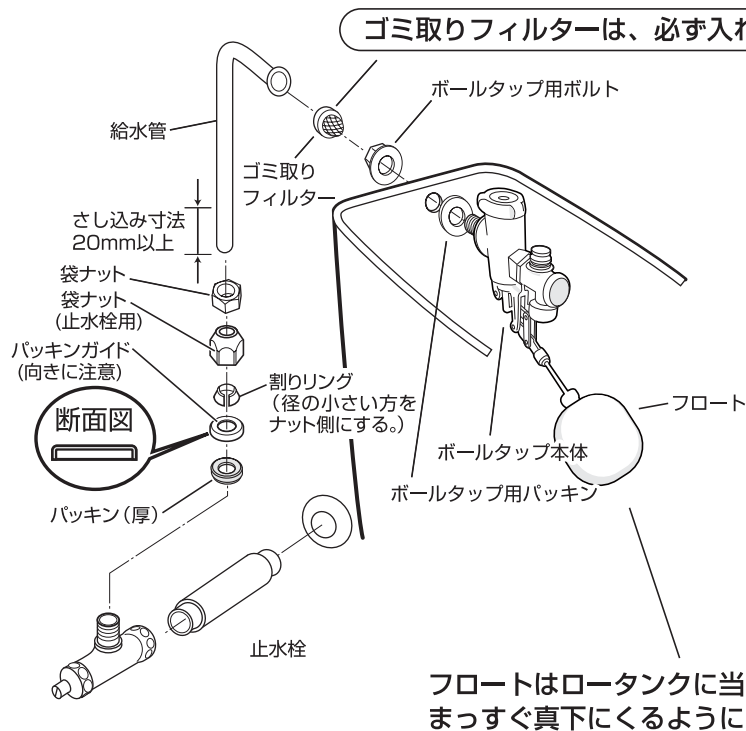
注　意

●ケーブル接続ニップルにニップル栓を十分に差し込みしっかりとケーブルを取付けてください。（水漏れのおそれがあります。）

❷ ケーブルの取付けみぞをケーブル固定金具にとりつける。

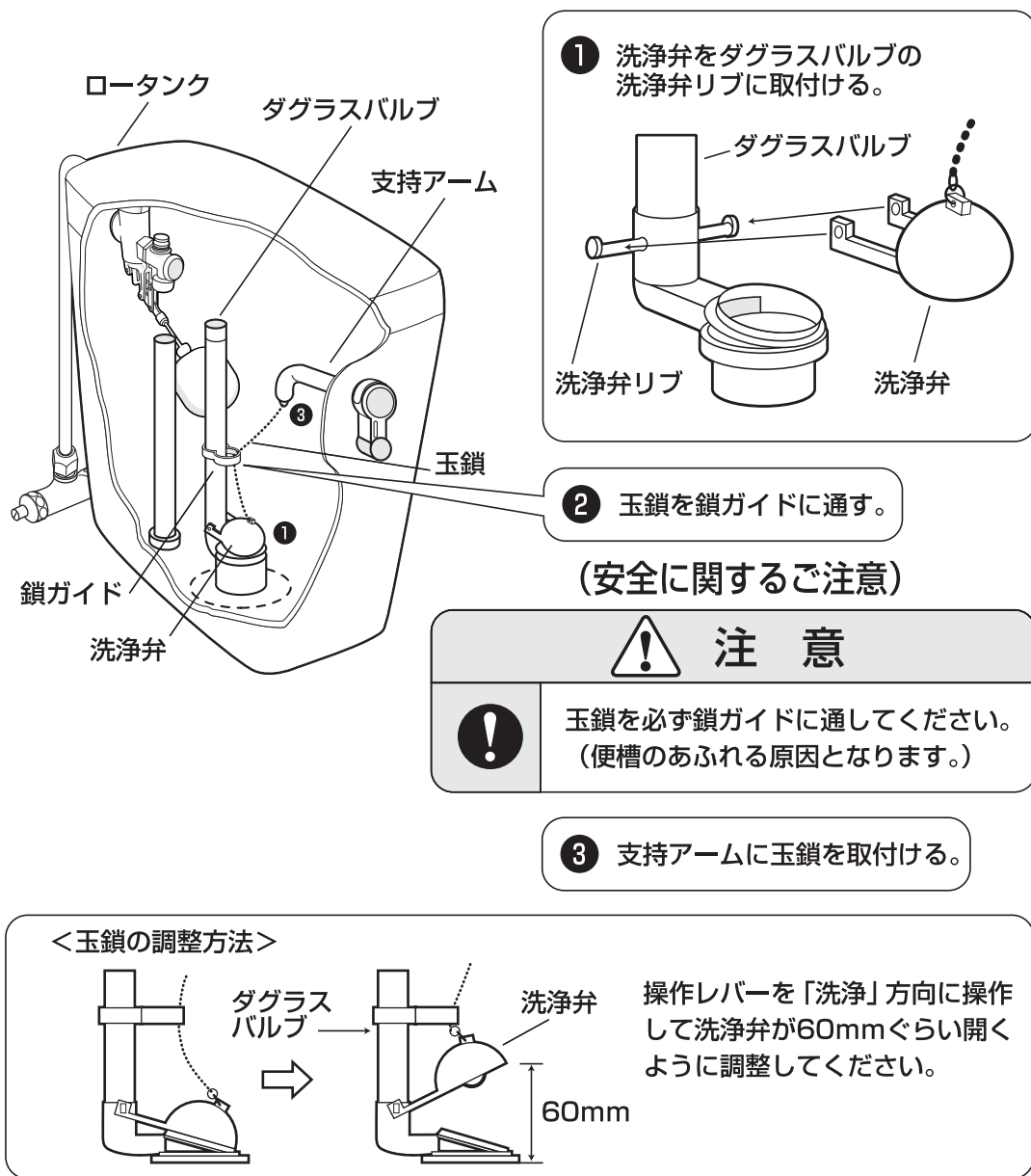
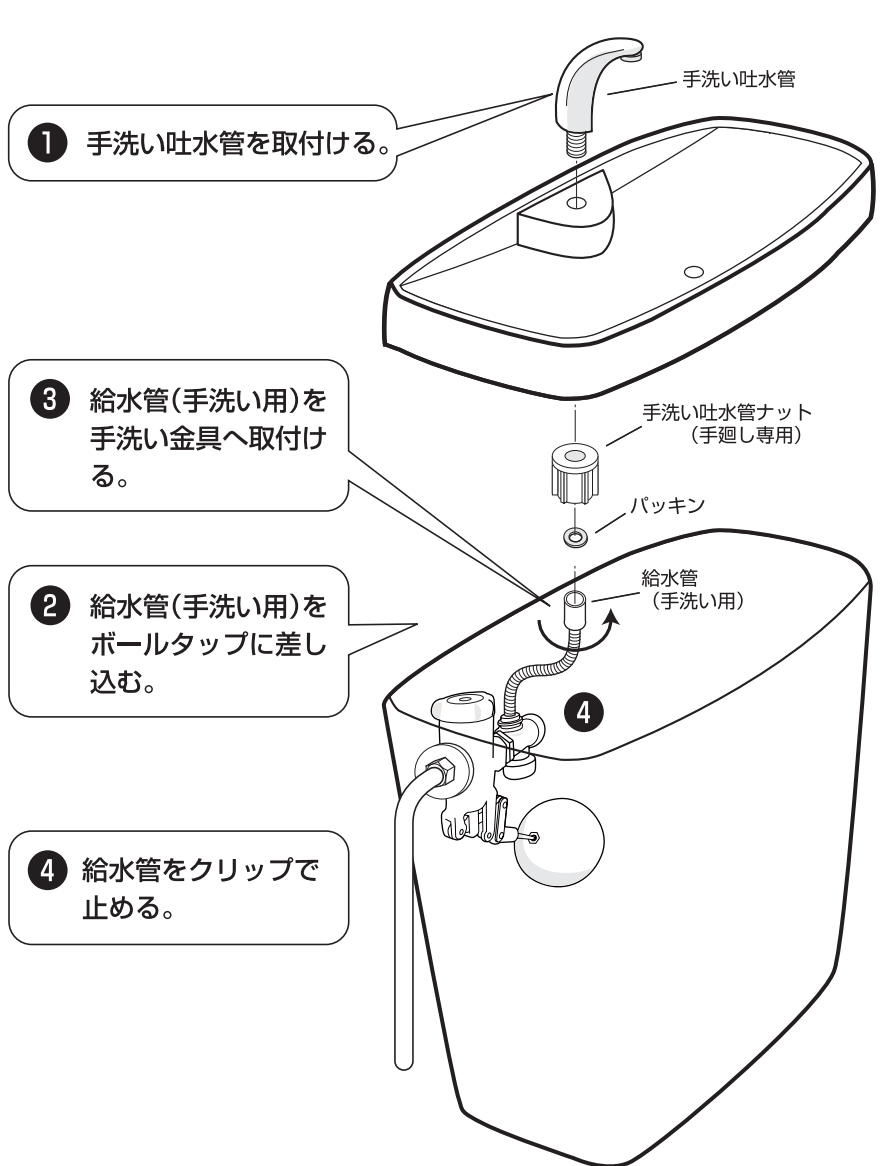
❸ ケーブル先端をケーブル取付ピンでとめる。

❹ ケーブル取付ピンをクリップでとめる。

8 便器と止水栓の接続

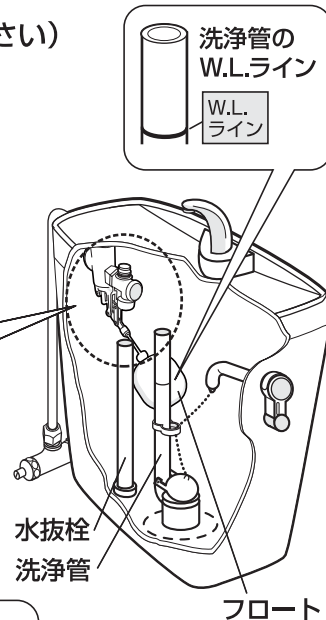
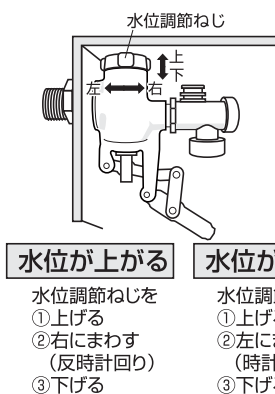
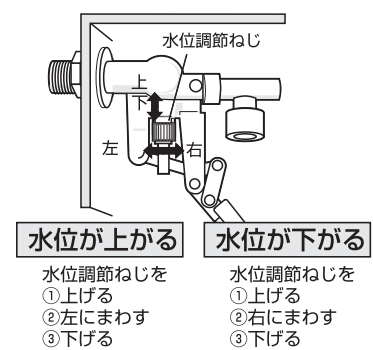
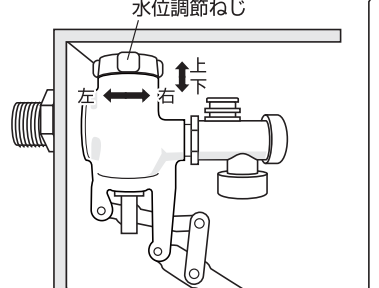
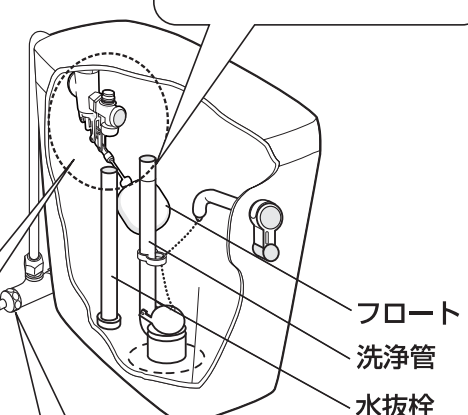
❶ ボールタップ・止水栓を取付ける。

ゴミ取りフィルターは、必ず入れてください。

フロートはロータンクに当たらないようにまっすぐ真下にくるようにしてください。

ご注意
- 止水栓は必ず取付けてください。
- 給水管のボールタップ取付部分がまっすぐに取付いてない場合には止水栓からの立上り部分を曲げてボールタップ取付部にまっすぐに取付けてください。
- 給水管に山をつくらないでください。（水抜きが不完全になります）
- ボールタップはまっすぐに取付けてください。

9 洗浄弁の取付け

10 手洗い吐水管の取付け（手洗い付タイプのみ）

11 ボールタップの止水位の調整・充填材の取付け（充填材の取付けは手洗い金具付タイプのみ）

❶ ボールタップの止水位を調整する（必ず実施してください）

ボールタップの水位調節
※発売時期によりボールタップの形が異なりますので、形状をご確認ください。

水位調節ねじ
上 下 左 右

水位が上がる	水位が下がる	水位が上がる	水位が下がる
水位調節ねじを ①上げる ②左にまわす ③下げる	水位調節ねじを ①上げる ②右にまわす ③下げる	水位調節ねじを ①上げる ②右にまわす （反時計回り） ③下げる	水位調節ねじを ①上げる ②左にまわす （時計回り） ③下げる

洗浄管のW.L.ライン
W.L.ライン

水抜栓
洗浄管
フロート

止水栓の調整
- 万一、ボールタップの水が止まらなくなっても、タンクから水があふれないように、ボールタップフロートを手で押さえ連続給水し、水抜栓から水が十分排水できるように止水栓で水量を調節する。

ボールタップの動作確認をする。
- ボールタップからの給水及び止水栓の確認をしてください。

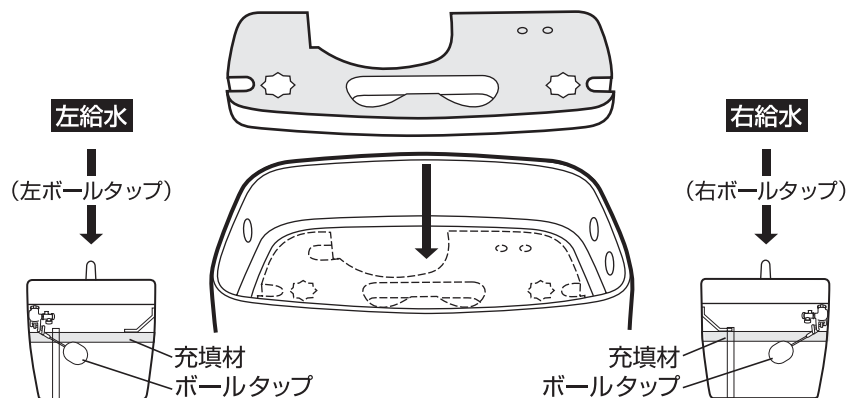
止水位の調節
- ボールタップの水位調節をおこない、洗浄管の W.L.ライン に止水時の水位がくるようにしてください。

❷ 充填材のセット（手洗い金具付きロータンクのみ）

左給水 の場合の取付け方向
（下図参考の上取付してください）

右給水 の場合の取付け方向

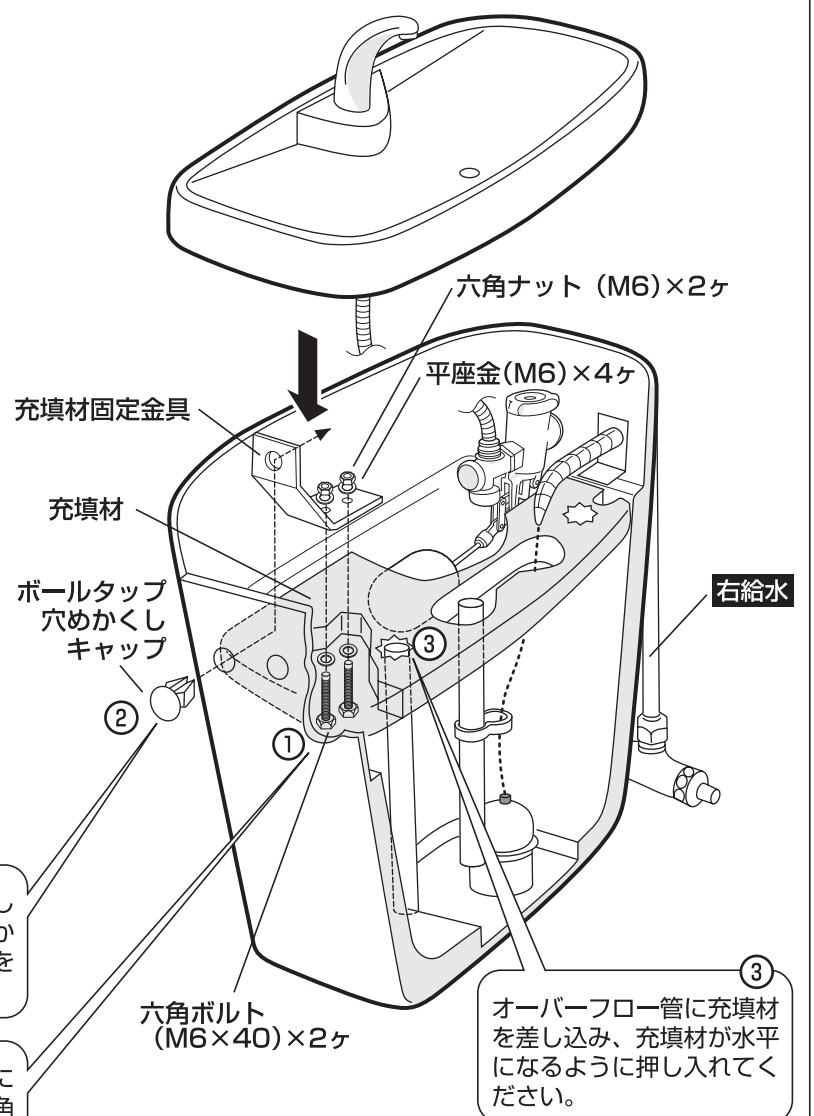
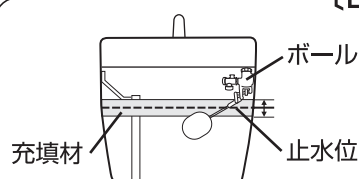
左給水
（左ボールタップ）
充填材
ボールタップ

右給水
（右ボールタップ）
充填材
ボールタップ

❸ 充填材の取付方法
〔図は右給水（右ボールタップ）の場合〕

六角ナット（M6）×2ヶ
平座金（M6）×4ヶ
充填材固定金具
充填材
ボールタップ穴めかくしキャップ
右給水
六角ボルト（M6×40）×2ヶ

② 充填材をロータンクに差し込み、ボールタップ穴めかくしキャップで支持金具をロータンクに固定する。

① 取付方向を決めた後、先に六角ボルト・平座金・六角ナット各セットで支持金具と充填材を固定する。

③ オーバーフロー管に充填材を差し込み、充填材が水平になるように押し入れてください。

〔ロータンク正面よりの断面図〕

ボールタップ
充填材
止水位

操作レバーで数回水を流し、止水位が必ず充填材厚み範囲に入ることを確認してください。
（もし、止水位が充填材厚み範囲を外れる場合は、再度ボールタップの止水位で調節してください。）

12 動作の確認と施工後の調整

❶ 水漏れのないことを確認する。
- 元栓および止水栓を開け配管部分の水漏れのないことを確認してください。

❷ ボールタップの動作確認をする。
- ボールタップからの給水及び止水性の確認をしてください。

❸ 止水位の調節
- ボールタップの水位調節をおこない、洗浄管の W.L.ライン に止水時の水位がくるようにしてください。

❹ 洗浄水の流れかたを確認する。
- 洗浄レバーで各機能の動作確認をしてください。

❺ ゴミ取りフィルターの清掃
- ゴミ取りフィルターに水アカやゴミ等がつまると、ボールタップの水の出が悪くなりますので、動作確認後、必ずゴミ取りフィルターの掃除をしてください。

❻ 止水栓の調整
- 万一、ボールタップの水が止まらなくなっても、タンクから水があふれないように、ボールタップフロートを手で押さえ連続給水し、水抜栓から水が十分排水できるように止水栓で水量を調節する。

クリーンスイセン Cタイプ施工完了後 チェックリスト

商品を取り付けられた方へのお願い!!

取り付け後、このチェックリストに従い施工確認をして頂き、結果を記入の上、お客様にお渡しください。

No.	チェック項目	結　果
1	●便器及びロータンクにガタつきがありませんか？	
	●便器は床に4ヶ所、固定しましたか？	
2	●操作レバーを操作し、次項を確認してください。	
	＊「洗浄」「溜水」が確実に流れますか？	
	＊便器と床間の水漏れはありませんか？	
	＊配管部の水漏れはありませんか？（事前に配管を拭き、トイレットペーパーを当て、水漏れがないことを確認してください。）	
	＊ボールタップが正常に作動しますか？	
	＊止水栓を調節をしましたか？（ボールタップ連続吐水時のオーバーフロー防止、手洗い付の場合の洗浄水量確認）	
	＊操作レバー「溜水」での、たまった水が減らないですか？	
	＊ロータンクの止水位はW.L.ラインになっていますか？	
	＊便器への水ぎれは良好ですか？	
	＊操作レバーの動作に異常はありませんか？（異常音、途中停止等）	
3	●ゴミ取りフィルターは掃除しましたか？付け忘れはないですか？	
4	●マンホールは確実にロックされていますか？	

施　工　日	施　工　店　名	担　当　者

お願い

1. 長期間使用しない場合は、止水栓を閉め、ロータンクの水抜きをしておいてください。
2. 施工説明書、施工完了後チェックリスト、取扱説明書、保証書（必要事項記入）を、お客様にお渡しください。

パナソニック株式会社　水廻りシステムビジネスユニット
〒571- 8686 大阪府門真市大字門真1048番地

© Panasonic Corporation 2012